

第2回 千葉県 JFA+PUSH コース（簡易版スポーツ救命） 報告書

2025年3月1日（土）17:50～20:30に千葉県スポーツ科学センターで救命講習会を開催した。目的はスポーツ現場での突然死を防ぐために脳震盪、熱中症に関する知識や心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶことである。講師にNPO法人ちば救命・AED普及研究会から本間洋輔先生（千葉市立海浜病院 救急科医師）、玉井勇一先生（日本医科大学千葉北総病院、看護師）をお招きしご講演、実技の指導をいただいた。受講者は千葉県サッカー協会の第1種（千葉県リーグ1部、2部の代表者）の約20名で行った。

はじめに動画を中心としたスライドでの講義を60分程度で脳震盪、熱中症に対する予防、対応などをご指導いただき、その後模擬患者を用いた心肺蘇生法、AEDの使用方法などの実技講習を90分程度行った。第1回の講習会の反省から今回、AEDの実物を使用して、より現実的な場面を想定しての実技講習ができた。

昨年度改定されたJFAの熱中症対策ガイドラインでWBGT31度以上における、試合開催条件の一つにJFA+PUSHコース受講も追加されたこと、またJFA指導者ライセンスに必要なリフレッシュポイントを本講習会で5点得ることができるようになったことも、より本講習会の重要性が高まったと考えられた。

土曜日の夜間帯開催であったが、2人の講師の先生方がわかりやすく、かつ無駄がない指導をしてくださり、非常に意義のある講習会になった。



